

JOMA 通信



Japan Overseas Missions Association

海外宣教連絡協力会 公報

No. 67号

人と人とのつながりを大事にした福音宣教を

JOMA 役員 水口 功

東京フリー・メソジスト教団宣教委員長

私たちの教団の宣教委員会は、2008年度にJOMAに加盟させていただきました。私たちの教団では、2004年からタイ・チェンマイの日本語教会の牧師として、邦人宣教にあたっておられる野尻孝篤・明子宣教師夫妻の働きを、祈りと財で支援しておりますが、日本の諸教団、諸団体にも覚えて祈っていただくために、JOMAへ加盟を申請し、許可をいただきました。

野尻宣教師夫妻は、1980年代に8年間、OMFの宣教師として、バンコクと中央タイでタイ人宣教に当たられました。

私事ですが、野尻宣教師夫妻の第2期目の宣教派遣の壮行会のおり、その集会の説教者が「聖書の朗読と勧めと教えとに専念しなさい」(1テモテ4:13)の聖句を朗読されました。その時、私はこの言葉で直接献身の召命を受け、以後、KKGでの大学生伝道、そして教団の開拓伝道へと導かれ、今日、11年前に開拓した教会の牧師として奉仕しております。それらの奉仕を通して、数多くの神の器たちとの出会いの機会に恵まれました。そして信仰経済、全人格的宣教、キリストのからだを建てるための超教派的協力、などといった宣教のスピリットを注入させていただきました。

さて今年の8月末の1週間、野尻宣教師の働きを視察し、さらに祈りを深めることを目的とした宣教ツアーを実施し、私はその団長を務めました。宣教ツアーは、2年前も同じ時期に行い、その時にはチェンマイ日本語教会の姉妹とともに礼拝をささげ、交わりを深め、現地邦人宣教の実態などを学びました。今回の宣教ツアーは、チェンマイの日本語教会だけでなく、後

半はバンコクにも立ち寄り、二つの日本語教会の教職者や信徒の方々から、当地での邦人宣教の歴史や現在の祝福と課題を伺い、ともに祈りする機会を与えられました。

今回、タイにおける3つの日本語教会を、集中して視察することを通して、



①タイの地で、孤独に過ごしている日本人に寄り添い、彼らに何とかして福音を届けるための諸活動を実践している様子。

②タイから日本に帰国する人たちのフォローアップを、きめ細かく、日本の教会や日本にいる知り合いのクリスチャンと、連携をとるように心がけておられる様子。

③経済的困難の中でも、信仰によって、礼拝堂の確保や、専任の牧師招聘に取り組もうとしている様子。

それらを見聞きすることができ、たいへん励まされました。また、お話の中で話題にあがった数名の人たちは、私もすでに面識のある方たちでしたので、たいへん親近感を覚えました。

今回の宣教ツアーに参加した姉妹も、タイの日本語教会の教職者や姉妹との出会いを通し、タイの邦人伝道のこれからのために、同じキリストのからだに連なる者として、祈り関わっていくことに忠実でありたい、という思いを、強く与えられたようです。福音宣教の働きは、使徒の時代以来、神を愛する人から人へとバトンタッチされて、今日に至っていることです。私たちも主が備えてくださる出会いの恵みを、感謝して受け取り、人と人を丁寧につなげていく働きを、大事にしていきたいものです。



宣教セミナー報告

JEMA とは

マックス・オーニング

JEMA と JOMA はよく混同されます。似ているところが確かにあります。両団体の共通する目的は”多くの人々が神様の福音を聞けるよう、多くの宣教師を励まし、もっと力強い働きができるように訓練の場を提供する“ことだと思えます。

JEMA は戦後 1947 年 EMAJ の名称でスタートし、1968 年 JEMA として再スタートしました。最初の頃はほとんどの宣教師は西洋人でしたが、近年は南米やアフリカ、アジアからの宣教師がどんどん増えていきます。最初の頃は、宣教師が共に励まし合い、交わり、協力、教育をする事が大切でした。ですから、夏の軽井沢での宣教師対象のカンファレンスは、宣教師たちにとって貴重な存在となりました。今インターネット時代となり、交わりと学びはパソコンでもできるようになりました。しかし、それがあっても実際に顔と顔を合わせての交わりや学びの必要性はこれからも消

えないでしょう。JEMA はこのような事を引き続き計画しています。

JEMA の一つの強い点はネットワーキングです。現在 43 団体 877 人の宣教師と 103 人のテントメーカーや団体に属していない宣教師が登録されています。組織としては理事会の下に、リエゾン（連携）と会員管理、コミュニケーション、祈祷、開拓伝道、女性奉仕者、言葉と文化、という 6 つの専門委員会があります。それ以外に協力ミニストリーの Member Care もあります。また、JEMA が推薦するミニストリーとして、CRASH、CAN、Wheelchairs of Hope、Close the Gap の 4 つがあり、JEMA のネットワークを通してその働きを知らせ、また協力しています。

JEMA は将来的に変化や調整する必要も出てくることでしょう。でも一番大切なのは、日本宣教がこれからも祝福されるように、又これからの宣教師と日本の教会の協力関係がもっと用いられるよう力を入れたいと思います。

JOMA のこれから — JOMA と諸団体の連携を考える

竿代照夫

JEA 宣教委員会・前委員長・竿代照夫 JOMA の恩恵を受けていた宣教師、所属教団からの JOMA 総会代議員、更に JEA 宣教委員という立場から、与題について幾つかコメントしたい。

A. JOMA の性格と目的

JOMA の目的は、「日本の福音的教会を背景とする宣教部門、宣教団体の協力機関であり、共通の領域での協力促進と更に効果的な海外宣教のあり方を求めることを目的に、諸教会での海外宣教についての理解促進と宣教団体間の協力を促進するための事業、及び会員相互の交わり」である。一教団、団体では不十分なことを協力してなす機関であるが、中身については、十分煮詰められていない。

B. JEA 宣教委員会の目的と活動

2004 年に JEA 宣教委員会が再編されたが、その理念は「日本の諸教会が、聖書に根ざした宣教の神学理解を深め、独自にまた互いに協力し、主の再臨の時まで積極的に宣教を実施できるように、啓発、支援、励ましを与えていく」ことであった。その目的は、

1. 聖書の宣教神学の確立
2. 国内においては、宣教的教会形成と教会に根ざした宣教に寄与

3. 世界における多種多様な聖書の宣教の推進に寄与
4. 宣教の働きに関して、国内海外の宣教諸機関と協力、である。

C. JOMA と JEA 宣教委員会との関係

1998 年頃、JOMA と JEA 宣教委員会との関係が、突っ込んで議論された。

両者の構成上の違いとしては：

- JOMA が超教派宣教団体と教派宣教部門を構成員としていること（ただ JOMA 加盟の超教派的宣教団体で JEA の協力会員は少ないが、一方、JOMA 加盟教派の殆どは JEA に加盟している）
- JEA は福音的教派・教会をその構成員としていること（伝道団体は協力会員という位置づけであること、そして、宣教委員会は、JEA の諸専門委員会の一部門であること）が認識された。

両者の活動面での違いとしては：

- JOMA は各団体それぞれの自主的な活動を基盤とした連絡・協力の機関であること
- JEA 宣教委員会は、加盟団体の宣教協力・相互研修を推進するとともに、世界やアジアの宣教運動との連携をはかる機関であることが確認された。

こうした違いから、両者が敢えて合流するよりも、相互協力する方法が合意された。即ち、JOMAはJEA宣教委員会に正式な委員を派遣すること、JEA宣教委員会はJOMA総会に代表者を陪席させること、また、JOMAの行事を後援することなどが確認され、それは今でも実行されている。

D. 今後の展望と示唆

1. JOMAメンバーの広がり

JOMAとJEAの構成メンバーが、限りなく同位的になること（つまり、JEA加盟教派の宣教部門の殆どがJOMAの会員となること、また、JOMAに加入していない超教派宣教団体がもっと加入すること）が望ましい。そのためには、宣教師祷告カレンダーの活用などを通してJOMA参加の魅力を増やすことが必要である。また、JOMA年会費を可能な限り安くすることで、入会のハードルを下げる努力も必要である。

2. JOMAの活動を広げる

日本から宣教師を送る働きに伴うビジョンや課題についてより積極的に語らい、共通的な行動が起こればよい。宣教師子女教育、危機管理、サポートシステムの強化、宣教師会議など、共通の土俵を提供したい。

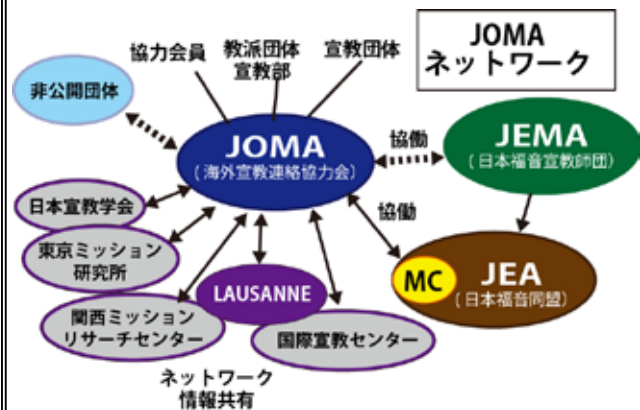
3. JEAとJOMAの協力分野を拡大する

JEA宣教委員会はJOMAの働きを（後援という形で）全面的に協力する。ディアスポラ伝道分野でも、日本にいる多民族への伝道の戦略を共同で模索することが有益であろう。2016年の第六回日本伝道会議の大切な部門として「海外宣教」のプロジェクトも共同で進めたい。そのほか、アジア・世界の世界宣教委員会、ローザンヌ運動と連携して、世界宣教に共に貢献したい。

JOMAと諸団体との関係－協働

JOMA会長 福井 誠

JOMAは元々自主的活動を基盤とした連絡・協力機関である。こうした団体が、JEA宣教委員会との関係上、組織的にどうつながるのか、ということについてこれまで様々な議論が重ねられてきたようであるが、結論的に一つの組織として整理されていくよりも、二つある組織が、互いの強みを生かし、固有の役割を担い合いながら協働し、宣教の前進に努めるのがよいと思われる。そういう意味では、JOMAはJEAの宣教委員会の一翼を担うというよりも、JOMAの幅の広い超教派性の強みを生かし、JEAの働きにも積極的に協力していくということになるだろうと思う。したがってJOMAをはじめとした諸他団体ともゆるやかな連携組織を維持し、情報共有と宣教推進を図っていくということになるだろう（下図参照）。また実際には、他団体との協働がしやすいシステムを構築していくことが課題になるので、今年度は、JOMA情報システムの開発に力を入れていくことになるだろうと思う。



JEAからの報告

JEA 総主事 品川謙一

JOMAの尊いお働きに心から感謝いたします。2011年4月からJEAの総主事に就任しました品川謙一です。JOMAの皆様のお働きから学ばせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

経済のグローバル化などによる国境をこえた人々の流れの増大により、日本から派遣された宣教師の先生方の役割の重要性が高まっていると思います。2月にディアスポラ宣教を研究されているエノク・ウォン師の講演に参加しましたが、世界には日本人だからこそ宣教できる場所や状況が多くあるということでした。しかし、送り手である日本の教会に目を転じてみると、少子高齢化や世代交代の課題を十

分にクリアできていない状況です。海外で救われて帰国してくるリターニーの方たちがなかなか日本の教会に定着できないという状況も合わせてみると、神様の需要と供給は合っているのに、教会がそれを活かしていない現状があるように思われます。東日本大震災からの救援・復興の働きの中でも、国境をこえた連携・協力の大切さを再確認しています。

このような時代の流れの中で、JEAとJOMAのパートナーシップの重要性は今後ますます高まっていくと思います。組織的な仕組みの面ではいろいろ知恵が必要かと思いますが、何よりも主の御業が国内、国外で前進していくために共に労していきたいと願っております。それぞれの地で主の御業に励んでおられる、お一人おひとりの宣教師の先生方とそのご家族の上に主の御守りと祝福を祈ります。

世界の地域特集 11 ブラジル

－ 南米宣教会の働き －

これまでの歩み

南米宣教会は1970年に超教派の宣教団体として設立されました。事務局は東京の朝顔教会内で、初代理事長は井出定治師でした。これまでブラジルに派遣された4組の宣教師は、1971年に中田智之師・宣子師夫妻、1977年に佐藤浩之師・文代師夫妻、1998年に三浦春寿師・千春師夫妻、2004年に塚田献師・由美子師夫妻です。



2007年当時の4組の宣教師。左から中田師夫妻、塚田師夫妻、三浦師夫妻、佐藤師夫妻。

南米宣教会は現地で宗教法人格を取得しています。宣教師子弟は日本人学校ではなくブラジル人学校で教育を受けています。また、マナウスにおいて開設された小中学校や職業訓練センターの運営のためには別法人が必要となり、2001年にアマゾナス南米宣教会が設立されました。

南米宣教会の特徴は、宣教師たちが教会のない町で開拓伝道を始め、生まれた教会が新たな教団組織になることなく、現地にある福音的で友好的な教団に加入し、その教会が現地の教団と共に成長することを勧めていることです。これまでに開拓された4つの教会は、現地の福音的な教団に譲り渡され、成長を続けています。現在は現地協力教団の牧師不足もあって、既成教会での牧会を要請されるケースが出て来ました。



佐藤宣教師と塚田宣教師家族

ブラジル連邦共和国

面積：約851万平方キロ。面積および人口は南米の1/2を占め、その両方で世界第5位。

	人口	増加率	人口密度
2010	19,542 万人	+ 0.99%	23/ km ²
2020	20,905 万人	+ 0.60%	25/ km ²
2030	21,714 万人	+ 0.31%	26/ km ²

首都：ブラジリア

都市居住者：86.5% 15歳未満：26%

平均寿命：72.2歳

民族構成：ヨーロッパ系 50.2%（ポルトガル人とイタリア人、およびスペイン人は本国外最大人口、ドイツ人は本国外第2位の人口）／ 混血 38.0%（ヨーロッパ系と原住民、もしくはアフリカ系との混血）／ アフリカ系 6.4%（西アフリカやアンゴラから連れて来られた奴隷の末裔）／ アジア系 5.6%（アラブ系 4.0%、日系 0.7% 本国外最大人口、ユダヤ系、中国系）／ 原住民 0.41%（185の言語を話す275の部族、部族が解体された原住民 0.34%）

識字率：88.6% 公用語：ポルトガル語

言語数：193 固有言語：181

現地語聖書：両約6、新約52、分冊72、翻訳中80

宗教	人口比 (%)	信者数 (万人)	増加率 (%)
キリスト教	91.40	17,861.6	+1.1
民族宗教	5.40	1,055.2	+1.8
無宗教	2.24	437.7	-5.3
その他	0.30	58.6	+3.9
イスラム教	0.29	56.6	+4.0
仏教	0.26	50.8	+1.8
ユダヤ教	0.06	11.7	+1.0
中国系宗教	0.02	3.9	+1.0
バハイ教	0.02	3.9	+1.0
ヒンズー教	0.01	1.9	+1.0

キリスト教	教派数	人口比 (%)	信者数 (万人)	増加率 (%)
プロテスタント	150	16.34	3,193.2	+1.7
独立/単立	324	12.42	2,427.1	+2.3
聖公会	3	0.07	13.5	+1.8
カトリック	1	72.79	14,225.0	-0.4
正教	15	0.09	17.9	+0.0
非主流	57	1.54	300.5	+3.0

	人口比 (%)	信者数 (万人)	増加率 (%)
福音派	26.3	5,133.4	+1.7
刷新派			
カリスマ派	31.2	6,088.9	+1.9
ペンテコステ派	20.9	4,077.2	+1.7

ブラジル出身の宣教師：115団体、プロテスタント+単立+聖公会3,438人（内、長期1,976人）、国内：744人、南米の他地域：879人、アフリカ：488人、欧州：389人

各宣教師の働き

中田宣教師夫妻はゴヤス州にゴイアニヤ教会、アマゾナス州にマナウス教会を開拓し、それらの教会はブラジル福音ホーリネス教団に加入しました。また、中田師はマナウスに幼稚園とジョゼフィーナ小中学校と職業訓練センターを開設しました。(中田師夫妻は2008年に定年退職しました)

マナウスのジョゼフィーナ学校



三浦宣教師夫妻は、アマゾナス州にあるマナウス教会、まなみ幼稚園、ジョゼフィーナ小中学校の責任を負っています。その小中学校の生徒数は合計247人。学校は最近ようやく黒字経営になり、学校内で教職員が日曜礼拝を守っています。



マナウス教会で日本の訪伯団の皆様と三浦宣教師夫妻(前列中央)

佐藤宣教師夫妻は、サンパウロ州にガルーリョス教会とオザスコ教会を開拓し、両教会はブラジル福音ホーリネス教団に加入しました。オザスコ教会のポルトガル部は照屋牧師が担当し、佐藤師夫妻は日本語伝道部を担当しています。また、佐藤師はサンジョゼ教会の日本語伝道部でも定期的に礼拝や家庭集會を応援しています。

塚田宣教師夫妻は、南マットグロッソ州のカンポグランデ教会で牧會をしています。この教会は開設から40年間に、多くの伝道所と献身者を生み出しています。塚田師夫妻は日本語とポルトガル語を駆使して超多忙の教会奉仕に当たっています。

J+Passion (超教派の青年大会) 分科会の報告

JOMA 副会長・アンテオケ宣教会主事
松崎ひかり

今年も J+Passion の実行委員会から、JOMA へ世界宣教の分科会を依頼され、日本ウィクリフ、OMF、アンテオケ宣教会の協力を得て行いました。一講師による講義型は避け、参加者と至近距離での交流を目指し、部屋の四隅に設けたブースで、各担当者が違った角度から20分語り、来会者は3、4人の小グループで20分毎にブースを巡回、一巡でアジアの2箇所、聖書翻訳、宣教のためのとりなし祈禱について知るという方法にしました。参加者は12人と少なく(昨年27人)、別の分科会が満員で仕方なく来た人もいましたが、アンケートでは、知らなかったことをたくさん聞いて目が開かれた、公に宣教できない環境で働く2人の宣教師の話を直接聞き、共に祈る機会が良かった等、概ね好評でした。

中学生になったばかりの12歳から40代の伝道師等、分科会への期待も理解も多様な参加者へ、世界宣教・異文化宣教という日頃身近でないかもしれない主題を、90分の時間内でいかに展開するか、この分科会の企画、実施における毎回の課題です。一方、いつ頃からか毎年「君にもできる世界宣教」という少々？な題が付けられ、内容はお任せなので、J+P側と細い相談もせず、毎年年度替わり間もない4月末、会場は首都圏のため、旧年度か新年度の役員で引き受けられる人が企画し、超教派イベント向けに人材を出し易い超教派宣教団体が動くという形でやってきたように思います。

青年の海外への興味が薄れたと言われる昨今、毎年若い世代に世界宣教のチャレンジをする機会が与えられることは大変貴重で、今後も依頼されたら、創意工夫しつつ参加するべきでしょう。同時に、宣教という広大なテーマの分科会として何を目指すべきか、J+P全体の目標とのすり合わせや、みことばからの動機付けと、参加者が一歩踏み出すきっかけ提供とのバランス、さらに広くJOMA会員の協力を仰ぐ努力等、JOMAとしての参加方法を検討する必要もありそうです。毎年4月29日ですので、各加盟団体でこれを覚え、斬新な提案や実際の協力を是非お願いいたします。

JOMA パート主事公募要項

JOMA では、パート主事を募集しています。

1. パート主事資格

推薦候補者については、以下の条件を満たしていることを原則とします。

- 1) 世界宣教へのビジョンと重荷があること
- 2) JOMA 加盟団体に所属する人材であること
- 3) 事務能力、並びに、英語力（海外との渉外事務可能レベル）があること
- 4) 宣教師経験者であること（必須条件ではありません）

2. パート主事職務

パート主事に期待される働きは以下のとおりです。

- 1) JOMA の目的達成のために必要な活動に携わる。
 - ① 役員会が方針策定をした働きについて、役員に代わって実質的な推進力となって活動する。また年度毎の働きを企画・提案し、推進、マネージメントする。JOMA 通信、カレンダーの企画ととりまとめを行う（編集・印刷・発送はアウトソーシングする）。
 - ② JOMA と協力関係のある団体の会合に役員に代わって代議員として出席する。今のところ JEA 宣教委員会、日本ローザンヌ委員会などがあります。
 - ③ JOMA が対外的に協賛する働きについて、役員に代わって出席する。今のところ J パッション、アンテオケ宣教会などで企画する大会などへの協賛があります。
 - ④ JOMA の各団体が持っているリソースを共有する WEB 上の情報提供・交換システムのマネージメントをする。（WEB 管理はアウトソーシングになります）
- 2) 会計、その他の実務を行う。

年次総会の準備、役員会の準備、それに伴う費用管理、および 18 団体の年会費の出し入れなどが会計の主な内容となっています。

3. パート主事の待遇

月 30,000 円を謝儀とし、冬期・夏期賞与それぞれ 2 ヶ月分。各大会や委員会出席への交通費は別途支給されます。原則として在宅勤務となります。

公募手続きにつきましては、下記へお問い合わせください。

問合せ先 福井誠
directorf@tamachape.com

邦人教会牧師募集！

オーストリアのウィーン日本語教会が、2013 年 4 月からの牧師を必要としています。

詳細は、高木攻一牧師
attackone-wien@chello.at まで
お問い合わせ下さい。（アンテオケ宣教会）

東京フリー・メソジスト教団・宣教委員会主催 合同宣教祈祷会のお知らせ

日時：2011 年 10 月 30 日（日）14:00～16:00

会場：東京フリー・メソジスト

桜ヶ丘キリスト教会

講師：横山基生師（日本基督教団東京新生教会牧師・
在欧日本人宣教会主事）

テーマ：ディアスポラ宣教のために
～その一人のようになる～

*他、この夏の宣教ツアー報告などがあります。

詳細は水口（東京 F M 宣教委員長、
042-676-2933）まで

JOMA WEB サイトが変わりました



URL : <http://joma.hope8.net/>

参加団体には ID、パスワードが発行されます。会員ページ内では、JOMA および各団体の機関誌等の情報の閲覧・ダウンロード、情報交換ができます。

発行：海外宣教連絡協会
発行者：福井誠
住所：〒101-0062 東京都千代田区
神田駿河台 2-1 OCC ビル内 6 階
e-mail : jomaoffice@yahoo.co.jp
ホームページ : <http://joma.hope8.net/>
郵便振替：海外宣教連絡協会
00160-7-106631